

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人日南福祉会

I 事業の概要

1. 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が国内に拡がって4年が経過し、その間感染対策への苦慮や我慢の時期が続きました。法人においても新型コロナウイルス感染症の感染対策を継続して実施し「施設に持ち込まない」ように取り組んできました。8月から近隣での感染が散見していましたが、何とか大きな感染となる前に対処してきました。10月中頃から第8波の感染が県内に拡がり、学校や保育園での感染もあり、家庭内感染が見られるようになりました。

その後、デイサービスにおいて、12月初旬に感染が拡がり、クラスター認定となり、12月末に県の現地確認、指導がありました（この間、4日間の休止措置をとりました）。また特養において、1月初旬に感染が拡がり、クラスター認定となり、1月中旬に県の現地確認、指導がありました。指導を受けて、改善すべきところは改善し、今後の感染対策に活かしていきます。今年度、8月から2月末までの間、法人職員27名、ご利用者31名の罹患者がありました。

以前のように物品等の入荷が遅れたり、欠品が続くようなことはなくなりましたが、年度中途から物品、流通などの価格並びに生活における経費が徐々に高騰してきました。これにより運営に係る経費が増えてきて、特に秋から冬にかけて水道光熱費における電気代が昨年度同月と比較して約1.5～1.8倍にもなりました。これらの状況は、しばらく続くものと予想され、今後の運営にも大きく影響するものと考えられます。

このような状況下のもと令和4年度は、特養、グループホームの施設サービスの充実と訪問介護、通所介護事業の効率化や事業運営における体制強化など、法人として次の項目を重点的な項目と位置づけ取り組んできました。

1. 事業継続に向けた経営・業務改善
2. 地域・事業課題に対する新たな体制づくり
3. 人材育成と組織強化及び管理体制の強化

まず、法人の経営改善として令和4年度から新しい給与体系に移行するとともに、人事考課制度の本運用を実施してきました。人事考課制度の運用には、職員研修として考課者研修を行い、考課者としての考課の仕方、面接や育成の方法に関する理解を深め、また被考課者にも研修を行い、人事考課の目的、共有を図りました。しかし、スケジュール等にずれが生じるなど、課題も出てきたため、今期は賞与への反映をせず、来年度の人事に資する資料としました。

令和3年度に町内の独居の方や退院後の生活に不安のある方などを対象とした高齢者生活支援サービス事業『あかね荘』（定員5名：令和4年3月県認可）をスタートしましたが、その後、有料老人ホームとして申請し、令和4年8月に『有料老人ホームあかね荘』として定員19名に変更し、事業運営してきました。あかねの郷拠点内で運営する

ことで、施設の有効利用と体制の効率化を図ることができました。従前からの冬期間の生活不安等による入居申込もあり、12月にはほぼ満床の状況となりました。

職員の確保については、ハローワーク、福祉人材センターへの求人掲載と合わせて、有償の求人サイトへの掲載を行いました。コロナ禍の採用活動は、オンラインが主流でしたが、このような中、7月頃から感染症対策をとった上で対面での説明会が行われるようになりました。オンライン説明会を通して新年度学卒者2名の応募があり採用に至りました。また、奨学金を受けて就学する学生の就職後の支援として、奨学金等返還支援貸与金制度を設け、採用活動の一助とし、介護士1名の採用に至りました。

人材育成は、新人職員を特養において3年間の育成プログラムをもとに、日頃の業務での指導に加え、定期的な面談や必要な研修への参加など、一人一人の成長段階を確認しながら育成に取り組んできました。

法人職員の事業における必要な外部研修や資格取得については助成制度により支援を行い、またあかねの郷において介護福祉士実務者研修を開講し、介護福祉士養成にも取り組みました。介護人材確保のための施策で経験・技能のある介護職員等を対象とした「介護職員等特定処遇改善加算」について、令和4年度は引き続き介護職員の処遇改善に重点を置くこととし、毎月手当として支給をしてきました。

1年ぶりに保健師による研修会や職員面談を実施しました。より良い職場環境を整備していくために、メンタルヘルスやハラスメントなどの対応について研修や実践を重ねてきました。

2. 事業別概況

(1) 社会福祉事業

①特別養護老人ホームあかねの郷

平成17年4月より日南町の指定管理を受けて、公設民営の小規模生活単位型施設として運営を開始し、17年が経過しました。令和4年度は、90床の受入体制として運営してきました。

医療的ケアユニット体制や福祉用具を活用した安楽な介護の実践、24時間シートによる情報共有の取組み、シャワー入浴機器による業務改善と効率化を行い、さらに日頃の様子やイベントなどの様子を事業所内に掲示、SNSへ掲載し、広く事業所の取組みや様子を広報してきました。

また、第三者評価を実施し、提供するサービスの内容について客観的・専門的な評価を受けました。現状を把握し、課題を明らかにして今後の業務改善につなげます。

延べ利用者数 32,732名：通算利用率 99.6%(対定員 90)，前年度比 68名減

②老人短期入所事業（特別養護老人ホームあかねの郷）

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策に関連して空床利用での運用としました。県内及び近隣地域における感染状況を踏まえて対策を講じる中でのご利用で、昨年度より若干増となりました。

延べ利用者数 159名：通算利用率 4.3%(対定員 10)，前年度比 38名増

（【介護】159名）

③老人デイサービス事業、障がい福祉サービス事業（生活介護）

令和4年度は、『介護・支援・特化』を一体的にサービス提供できるように体制を変更し、パズルや脳トレなどのご利用者個々にできる趣味、運動あるいは運動機器類を使用したご利用者の身体運動機能の維持を主としたメニューを提供してきました。また、総合支援法による障がい福祉サービス（生活介護）を提供してきました。コロナ禍での利用制限による利用減となりました。

「あかねの郷」（定員一般型 45+15名：週6日開所，特化型 10名：週5日開所）

延べ利用者数 13,360名 前年度比 1,068名減

（【介護】7,875名，【支援】3,603名，【事業対象者】1,765名，【生活介護】117名）

④老人居宅介護等事業、障がい福祉サービス事業（居宅介護）

令和4年度、訪問介護事業所「ホームヘルプセンターにちなん」では、引き続きご利用者一人一人の状態に合わせて、在宅生活で本当に必要なサービスについて検討し、地域支援など社会資源を活用して生活を支える取組みをご家族、関係機関と協議し、サービス提供に反映してきました。また、総合支援法による障がい福祉サービス（居宅介護）にも同様の取組みを実施してきました。コロナ禍での利用制限による利用減が支援の利用に影響しました。

延べ利用件数は、5,455件：前年度比 740件減

（【介護】2,761件，【支援】2,079件，【事業対象者】39件，【居宅介護】576件）

⑤認知症対応型老人共同生活援助事業

令和4年度は、2ユニット（18名）にて運営を行ないました。

ご利用者とのかかわりの時間を増やす取組みとして、カラオケ機器を使ったレク活動、体操やテラスでの野菜、花の栽培に加えて、出張販売で買い物をしていただくなどご利用者の活動の幅を広げてもらえるような取組みを行ってきました。

延べ利用者数 6,546 : 通算利用率 99.6%(対定員 18), 前年度比 12 名増

(【介護】 6,546 名)

(2) 公益事業

①居宅介護支援事業、介護予防支援事業

平成 17 年度当初から、在宅サービス利用者の利用計画、調整などの支援事業として居宅介護支援施設「ケアプランセンターあかねの郷」を運営しました。介護及び支援の利用対象者が若干増え、延べ利用数全体としては昨年度より増となりました。

延べ利用件数は、2,730 件 : 前年度比 65 件増

(【介護】 1,346 件, 【支援】 1,176 件, 【事業対象者】 208 件)

②事業所内保育事業

令和 4 年度も日南町の施策支援を受けながら利用料軽減も行い、継続して「事業所内保育事業」の運営を行いました。利用は、平日スポットと土曜、祝祭日が主で、コロナ禍の状況において、定期的な検温など体調管理に留意しながら過ごしました。

延べ利用者数 430 名 : 前年度比 169 名増

(3) 収益事業

①高齢者生活支援サービス事業

令和 4 年 8 月から有料老人ホーム『あかね荘』として、東上町 2 丁目を加えて、19 床として運営しました。町内の高齢者で独居あるいは退院後の生活に不安等がある方などを対象として、年間を通して入居できる体制として、12 月からほぼ満床で推移しました。

延べ利用者数は、2,822 名

以上の事業展開により、令和 4 年度の事業活動収支は、事業活動収入額 778,884 千円、事業活動支出額 743,909 千円、事業活動資金収支差額 34,975 千円となりました。

II 活動状況

1. 法人の運営

(1) 役員会等の開催

①評議員会

(出席評議員全員承認)

会議等	時期	内容
第95回評議員会	令和4年 6月22日	令和3年度計算書類及び財産目録の承認について
第96回評議員会	令和4年 12月12日	令和4年度資金収支補正予算の承認について
第97回評議員会	令和5年 3月23日	令和4年度資金収支補正予算の承認について 令和5年度事業計画並びに資金収支予算の承認について

②<理事会開催>

(出席理事全員承認)

会議等	時期	内容
第153回理事会	令和4年 4月13日	育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
第154回理事会	令和4年 6月1日	令和3年度年度事業報告書並びに計算関係書類等の承認について 第6回定時評議員会の招集について 就業規則の一部改正について 車椅子移動用自家用車及び軽自動車の更新(リース契約)について
第155回理事会	令和4年 6月29日	令和4年度夏期賞与の支給について クライアントPC更新導入(リース契約)について
第156回理事会	令和4年 9月28日	給与規程の一部改正について
第157回理事会	令和4年 11月30日	令和4年度資金収支補正予算について 令和4年度冬期賞与の支給について 就業規則の一部改正について 経理規程の一部改正について 福田理事の利益相反取引に係る承認について 令和4年度第1回臨時評議員会の招集について
第158回理事会	令和5年 3月15日	就業規則の一部改正について ハラスメント等の防止に関する規程の制定について 介護職員初任者研修事業の開講について 令和4年度資金収支補正予算について 令和5年度事業計画並びに資金収支予算について 令和4年度第2回臨時評議員会の招集について

③<任意監査>

会議等	時期	内容
任意監査	令和4年 5月19日, 20日	令和3年度決算について

④<監事監査>

会議等	時期	内容
監事監査	令和4年 5月12日 ～5月20日	令和3年度事業報告並びに決算について (監査報告書 令和4年5月20日提出)

(2) 経営会議の開催

- ・ 管理会議 (隔週開催)
- ・ 運営会議 (隔週開催)

(3) 各種委員会の開催

- ・ 安全衛生委員会 (毎月開催)
- ・ 入居選考委員会 (毎月開催)
- ・ 苦情解決・接遇改善委員会 (不定期開催)
- ・ 苦情改善第三者委員会 (4月開催：書面にて)
- ・ 感染症対策委員会 (毎月開催)
- ・ 安全委員会 (毎月開催)
- ・ 身体拘束廃止委員会 (奇数月開催)
- ・ 人材育成 (運営会議、内容に応じ特養会議に合わせ実施)

2. 教育研修

(1) 内部研修

研修名	講師	参加者
管理・指導者の研修		
被考課者研修	特別養護老人ホームあかねの郷 施設長 入澤良子	87
考課者研修	特別養護老人ホームあかねの郷 施設長 入澤良子	28
コンプライアンス等に関する研修		
身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修	特別養護老人ホームあかねの郷 施設長 入澤良子	141
コンプライアンス研修動画 (その1、その2、その3)	R3年研修録画動画の再視聴 〔米子東町法律事務所 橋澤弁護士 安田社会保険労務士事務所 安田社会保険労務士〕	140
リスクマネジメント研修		
リスクマネジメント研修	特別養護老人ホームあかねの郷 施設長 入澤良子	128
感染症予防研修	感染症対策動画視聴 ガウンテクニック DVD 視聴と実技	120
救命講習	江府消防署生山出張所 応急手当指導員 川上絵里子 応急手当指導員 西村猛志 応急手当普及員 絹谷和也 応急手当普及員 田中庸子 応急手当普及員 高橋美枝 応急手当普及員 生塩浩二	76
安全衛生に関する研修		
管理職メンタルヘルス研修・ハラスメント研修	ヘルプ°ロモーションサポートオフィス 渡部保健師	17

(2) 外部研修

研修名	主催者等	参加者
経営関係		
防火管理講習(甲種)	西部消防局	1
社会福祉法人会計実務セミナー	独立行政法人福祉医療機構	1
労働判例・政策セミナー	全基連	1
施設入所・退所時の事務手続等対応	全国老人福祉施設協議会	3

研修		
監事専門講座	全国社会福祉法人経営者協議会	1
人材育成関係		
老人福祉施設職員研修会	鳥取県老人福祉施設協議会	2
リスクマネジメント関係		
福祉サービス苦情解決事業研修会 WEB	鳥取県社会福祉協議会 鳥取県福祉サービス運営適正化委員会	6
カスタマーハラスメント対策研修	(株)リーガルマインド	1
応急手当普及員講習	鳥取県消防学校	1
応急手当普及員再講習	鳥取県消防学校	1
応急手当指導員養成講習	鳥取県消防学校	1
応急手当指導員再講習	鳥取県西部広域行政管理組合消防局	1
鳥取県災害派遣福祉チーム基礎研修	鳥取県災害派遣福祉支援センター	1
福祉サービス苦情解決研修	鳥取県社会福祉協議会	3
労務管理関係		
仕事と育児の両立支援セミナー	中小企業育児・介護休業等推進支援事業 パソナ	1
男性の育児休業取得促進オンライン セミナー（会社側）	イクメンプロジェクト	1
男性の育児休業取得促進オンライン セミナー（管理職編）	イクメンプロジェクト	1
安全運転管理者・副安全運転管理者 講習	鳥取県公安委員会	2
社会福祉施設における労働災害防止 のための説明会	米子労働基準監督署	1
社会福祉法人における人材確保・育 成・定着	鳥取県社会福祉施設経営者協議会	2
2022 大学院特別講義シリーズ”健康 経営を科学する”	産業医科大学	1
メンタルヘルス関係		
勤労者のメンタルヘルス対策	産保セミナー	1
ほっと安心日南町こころの健康づく りネットワーク会議・研修会	日南町福祉保健課	1
人権・権利擁護に関する研修		
介護施設での看取り研修（管理者向 け）	鳥取県長寿社会課	1
虐待発生時の対応	米子東町法律事務所	1
障がい者虐待防止研修	社会福祉士会	1
介護支援専門員の実務に関する研修		

ケアマネの説明責任能力の向上に役立つ支援経過の記載ポイント（養成研修）	鳥取県介護支援専門員連絡協議会	1
令和4年度介護支援専門員更新研修	鳥取県社会福祉協議会	3
令和4年度介護認定調査新任研修会	鳥取県長寿社会課	1
介護福祉士の実務に関する研修		
介護専門職研修	鳥取県社会福祉協議会	7
介護福祉士実習指導者講習会	全国ユニット型施設推進協議会	1
介護専門職研修会	鳥取県社会福祉協議会	2
シミュレーショントレーニング	新見公立大学	4
褥瘡対策セミナー	パラマウントベッド株式会社	1
口腔機能を見据えた口腔ケアの実践	鳥取大学附属病院	1
介護専門職研修	鳥取県社会福祉協議会	3
鳥取県認知症介護基礎研修	鳥取県長寿社会課	7
鳥取県認知症介護実践者研修	鳥取県長寿社会課	3
鳥取県認知症介護実践リーダー研修	鳥取県社会福祉協議会	2
ユニットケアに関する研修		
介護施設義務化研修会	全国ユニット型施設推進協議会	1
今日から活かせる失禁・スキンケア	王子製紙(株)	1
福祉用具等に関する研修		
メディカルケアサポート	(株)モルテン	2
調理に関する研修		
摂食嚥下障害のケアと食支援のありかた		1

(3) 人材育成

① 新採用職員研修

令和4年4月1日開催

(令和4年度の新採用、4名対象の研修)

<研修内容>

- ・法人の理念と運営方針、職場秩序について
- ・就業の基本、給与規程
- ・安全衛生教育
- ・人事考課制度について
- ・地域医療と福祉
- ・感染症対策
- ・高齢者虐待と身体拘束
- ・緊急時の対応、リスク管理の基本

② 人事考課制度の運用

- ・働き方の指針（行動基準）及び業務標準（職種別）の内容見直し
- ・個別面談（一次考課）と内容の検証、整理、フィードバックの伝え方
- ・評価表、働き方の指針などのツールや考課期間、結果の反映について

③ 人材育成会議内容（運営会議、特養部門にかかるものは特養会議に合わせ実施）

- ・職員研修計画について
- ・人材育成体制の充実化（階層別研修）
- ・社内研修報告について
- ・動画マニュアルの作成・求人について
- ・実習指導について
- ・資格取得に向けての支援（介護福祉士実務者研修、ケアマネジャー資格取得）

④ 法人内実践報告会

令和5年3月3日開催

→ 新型コロナウイルス感染症予防対策のため法人職員のみで開催

※各報告を撮影してDVDに保存し、後日各部署で閲覧及びホームページにYoutube動画として掲載。

【職員報告】

演 題	報 告 者
回想法の取り組みを行い見えた事	特別養護老人ホームあかねの郷 ヘルスケアチーム(認知症) 藤井 幸恵
体重から見えること	特別養護老人ホームあかねの郷 管理栄養士 渡邊 由美
地域で暮らしを支える仕組みづくりについて ~あかね荘でのつながり~	有料老人ホームあかね荘 管理者 入澤 良子

⑤ 令和4年度中の採用者数

新採用者 4月1日 3名

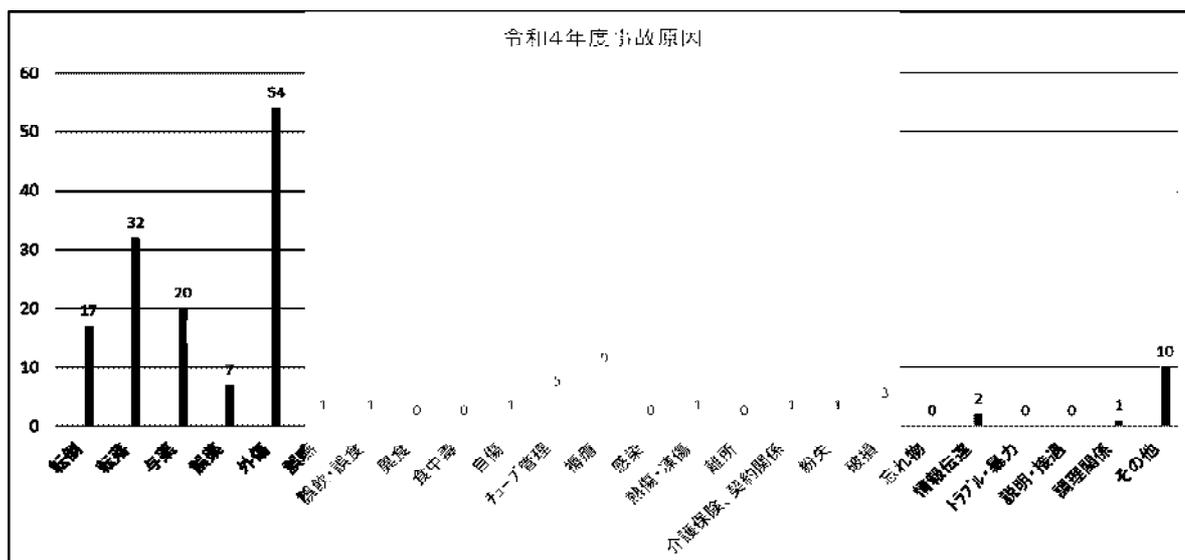
定年退職再雇用者 4月1日 3名

中途採用者 14名

3. リスクマネジメント

(1) 特別養護老人ホームあかねの郷

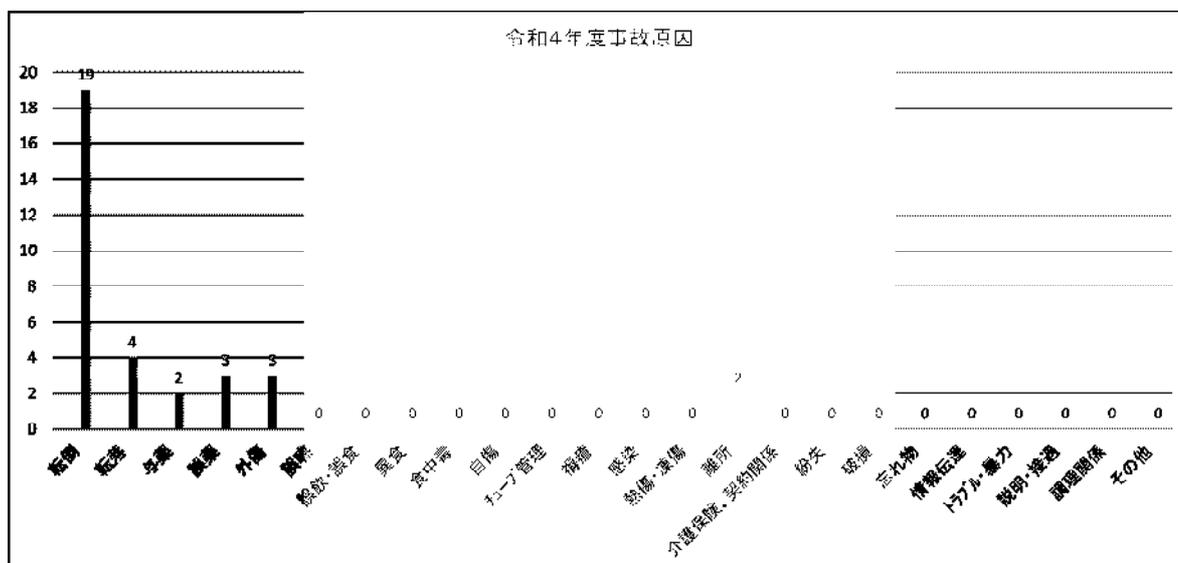
令和4年度 事故及びひやり・はっと件数 166件



- ・事故種類別に上位をみると、外傷 54 件、転落 32 件、与薬 20 件、転倒 17 件の順になっている。
- ・令和3年度と比較し、特養全体の報告件数は 20 件減少した。
- ・外傷 7 件、転倒 6 件、チューブ管理 8 件、調理関係 10 件減少したが、転落 10 件、褥瘡 7 件、誤薬 2 件、与薬 1 件増加した。

(2) グループホームあさひの郷

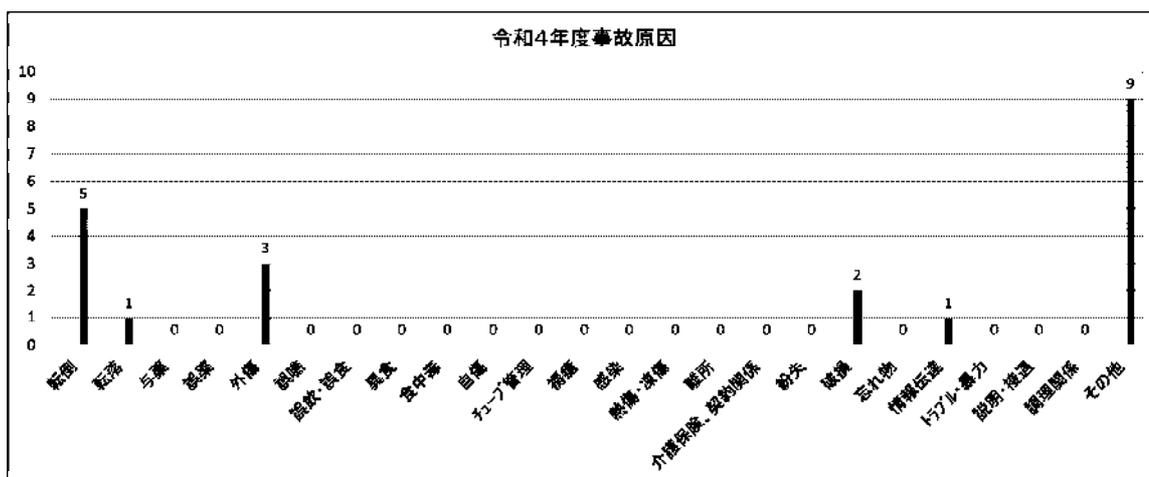
令和4年度 事故及びひやり・はっと件数 33件



- ・ひやり・はっと報告は、令和3年度と比較して全体で 19 件増加となり、主に転倒 11 件、誤薬 3 件、外傷 3 件増加した。
- ・事故種類別に上位をみると、転倒 19 件、転落 4 件の順になっている。

(3) デイサービスセンターあかねの郷

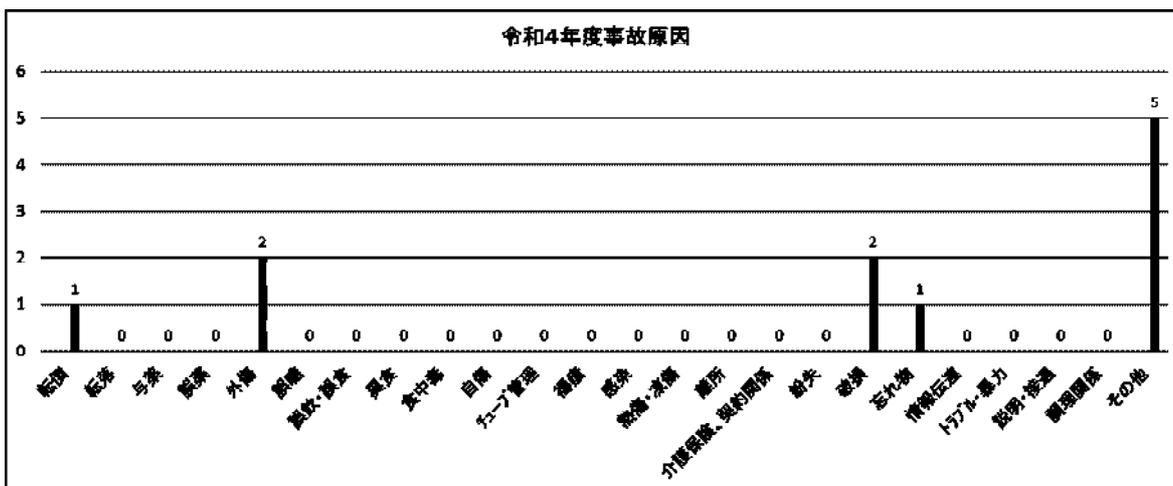
令和4年度 事故及びひやり・はっと件数 21件



- ・ひやり・はっと報告が全体で21件となった。
- ・事故種類別では、転倒5件、外傷3件、破損2件の順となっている。

(4) ホームヘルプセンターにちなん

令和4年度 事故及びひやり・はっと件数 11件

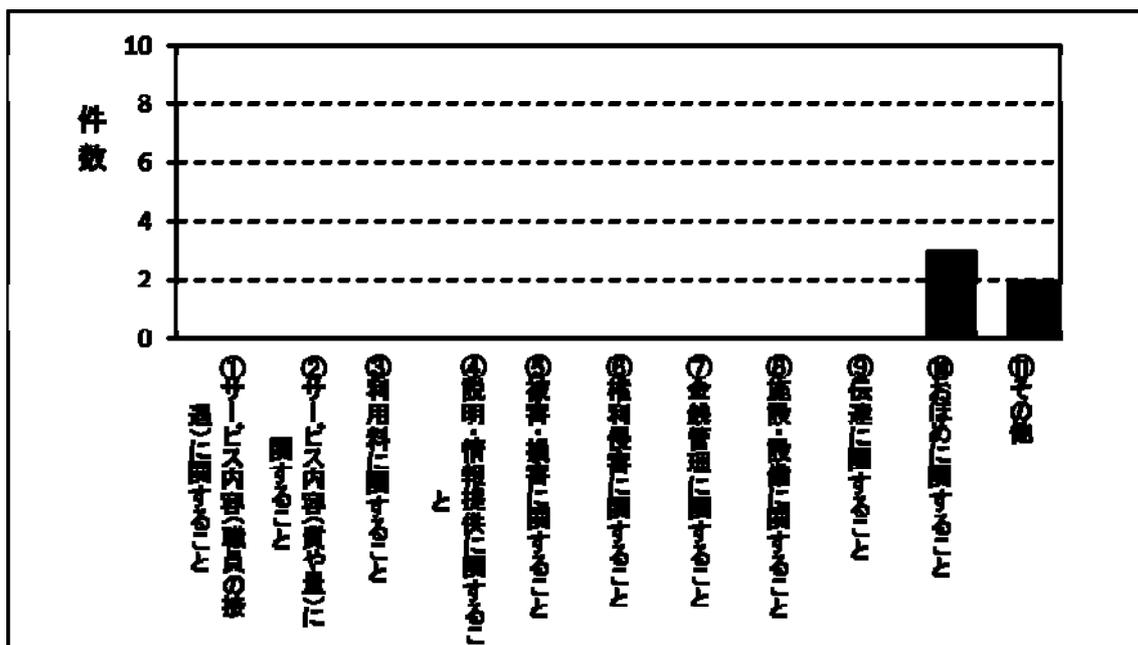


- ・ひやり・はっと報告が全体で11件となった。
- ・事故種類別では、外傷2件、破損2件、その他5件の順となっている。

レベル0：実施されていないが実施されれば被害が予想される
 レベル1：実施されたが被害がなかった
 レベル2：事故により何らかの変化が生じ、観察及び検査の必要性が生じた
 レベル3：事故により治療の必要性が生じた
 レベル4：事故による被害が一生続く
 レベル5：事故が死因となる

4. 苦情、要望、意見、おほめ

＜苦情、要望、意見＞



・苦情、意見等の総件数 5 件

- ・令和4年度の苦情、意見等の総件数は、令和3年度より2件多い5件であった。
- ・苦情、意見等の主な内容は、おほめに関するものであったが、新型コロナウイルス感染症の国内での感染状況から面会等の制限をしたことにより意見箱などへの投書が少なくなった。コロナ禍で遠方からの面会の機会が難しい状況の中、引き続きスマートフォンでの動画撮影やオンライン面会などの工夫を行った。
- ・感謝の言葉などをいただくことは、職員にとって大きな励みに繋がっており、感謝と喜びは充分感じながら、これに慢心することなく更なるサービス内容の充実に努めたい。

5. 地域貢献活動

(1) 実習等受け入れ

- ・新見公立大学 6月27日～7月23日 (2名)
- ・島根総合福祉専門学校 6月6日～7月7日 (3名)
- ・琴の浦高等特別支援学校 1月23日～2月3日 (1名)

(2) 視察・研修受け入れ

- ・9月15日 令和4年度学生のための福祉の職場見学支援事業
(県社協主催 日野高校2年生3名、教員1名、県社協職員1名)

(3) ボランティア及び寄付行為

- 令和4年度ボランティア実績 70件 197名
- 令和4年度寄贈実績
24件 (野菜、米、衣類等の寄贈)
- 令和4年度寄付金実績 48件

(4) 講師等派遣

ホームヘルプセンターにちなんより日野高校介護職員初任者研修に係る社会人講師派遣を行った。

(5) イベント

出前講座：2回（印賀、霞）

・看取りについて

6. 広報活動

- (1) 広報あかね空（年4回発行）
- (2) 特養あかねの郷便り、ユニット便り、家族会便り（年4回発行）
- (3) グループホームあさひの郷便り（年3回発行）
- (4) ホームページ並びに Facebook 更新
- (5) 日南町「お仕事バンク交流会」事業参加（6/3、2/16）

7. 記事

- (1) 4月1日、年度初め式
- (2) 4月1日、新採用職員研修実施（介護職4名）。
- (3) 有料老人ホームあかね荘について、県の認可がおり8月1日より19床での運営を開始した。
- (4) 日南町及び日南病院の協力のもと、8月に施設入居中のご利用者と8月から9月に希望する職員へのコロナウイルスのワクチン接種（4回目）を事業所で行った。
- (5) 12月8日、デイご利用者にコロナウイルス罹患が確認される。その後、他職員、ご利用者への感染が確認され、クラスター認定となる。12月27日に県の現地確認、指導があり、後日、改善状況報告をした。
- (6) 1月4日、新年年始式
- (7) 1月5日、特養職員がコロナウイルスに罹患、その後他職員、ご利用者への感染が確認され、クラスター認定となる。1月15日に県の現地確認、指導があり、後日、改善状況報告をした。
- (8) 日南町及び日南病院の協力のもと、3月に施設入居中のご利用者と2月から3月初旬に希望する職員へのコロナウイルスのワクチン接種（5回目）を事業所で行った。
- (9) 3月3日、日南福祉実践報告会を新型コロナウイルス感染症の感染対策に伴い、法人内職員のみで開催した。
- (10) 各事業所行事等について
 - ・コロナ感染症対策を行いながら各事業所で季節の行事を実施
 - ・年間を通して誕生日のお祝い等を実施

Ⅲ 運営状況

1. 職員管理

区 分		説 明						
職員 の 採用 ・ 退職 の 状況	①採用の状況 (うち再雇用)	介護員	看護師	理学療法士	介護支援専門員	調理員	その他	合計
		12名 (3名)	0名 (0名)	0名 (0名)	1名 (0名)	0名 (0名)	7名 (0名)	20名 (3名)
	②退職の状況	退職日	定年退職	普通退職	期間満了	解雇	合計	
		令和4年3月31日付 年度中途	0名 -	0名 6名	5名 1名		12名	
	③職員数 (年度末時点)	令和3年度	正職員	嘱託	常勤準職員	非常勤職員	臨時	合計
		94名	11名	17名	28名	1名	151名	
令和4年度	正職員	嘱託	常勤準職員	非常勤職員	臨時	合計		
91名	12名	17名	32名	2名	154名			
休業 の 取得 状況	①年次有給休暇の 取得状況	年間付与日数(最大)20日、翌年への繰越日数(最大)20日 一人当たり平均取得日数…9.93日 取得率(総取得日数/総付与日数および繰越日数)…31.59%						
	②特別休暇の取得状況	休暇の種類	休暇の内容				取得人数	合計取得日数
		リフレッシュ	年間3日間取得可能な特別有給休暇				141名	368日
		忌引	親族の喪に服したとき及び法要を営むとき等				15名	40.5日
		資格取得	職務に係る資格試験を受けるとき				0名	0日
		結婚	職員本人が結婚したとき				0名	0日
配偶者出産		職員の配偶者が出産したとき				0名	0日	
産前産後検診		妊娠中または出産後1年を経過しない女性職員が 母子保健法に基づく保健指導または健康診査を受けるとき				4名	22.5日	
看護・介護	未就学児童の病気、けがの看護及び予防接種や健康診断・ 家族に2週間以上の期間にわたり常時介護の必要があるとき				5名	14日		
その他	理事長が必要と認めたとき(例:検査審議会、災害ボランティア等)				0名	0日		
③育児休業の取得状況	【新規取得】…2件 【期間延長】…2件 【前年度からの継続】…0件							
(3) 職員の懲戒処分 の状況 (処分件数)	【懲戒処分】…0件							
(4) 職員の研修 の状況	開催日	研修の内容					参加人数	
	5月	被考課者研修					87名	
	4月6月10月	考課者研修(指導職・管理職)					28名	
	5月	管理職メンタルヘルス研修					17名	
	4月～6月	身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修					141名	
	5月8月10月	コンプライアンス研修(録画視聴累計)					140名	
	6月～9月	救命講習					76名	
	6月～3月	介護専門職研修(介護福祉士の実務に関する研修)					12名	
	11月	感染症予防研修(コロナウイルス感染症対策研修動画)					120名	
	5月～9月	認知症介護基礎・実践・実践リーダー研修					12名	
	7月～9月	リスクマネジメント研修					128名	
3月	実践報告会(集合・動画視聴)							
(5) 福利 の 状況	①健康診断の状況	<令和4年度> 定期健診 136名(725,533円) 特定業務従事者検診 55名(405,350円)						
	②職員の福利厚生事業	<日南福祉会職員互助会> 加入数 129名 事業内容…慶弔給付 ※職員旅行、交流会などは新型コロナウイルス感染症の 感染対策に伴い中止としました。						

2. 職員給与等

(1) 人件費の状況

区 分	サービス活動収益	経常経費寄附金収益	人件費	福利厚生費	人件費率
令和3年度	千円 746,913	千円 1,025	千円 581,037	千円 2,302	% 78.21%
令和4年度	千円 766,034	千円 1,250	千円 577,293	千円 1,782	% 75.72%

※人件費率 = (人件費 + 福利厚生費) ÷ (サービス活動収益 - 経常経費寄附金収益) × 100 (%)

(2) 職員手当の内訳

職員手当の内訳	区 分	役職手当	業務手当	資格手当	扶養手当	時間外勤務手当
	本年度	千円 5,748	千円 1,690	千円 9,534	千円 1,917	千円 5,227
職員手当の内訳	区 分	夜間勤務手当	非常出勤手当	年末年始手当	深夜勤務手当	宿日直手当
	本年度	千円 9,220	千円 92	千円 523	千円 5,347	千円 354
職員手当の内訳	区 分	待機手当	住宅手当	通勤手当	特定加算手当	
	本年度	千円 168	千円 6,732	千円 6,139	千円 3,796	
手当合計						千円 56,487

(3) 職員一人あたりの給与

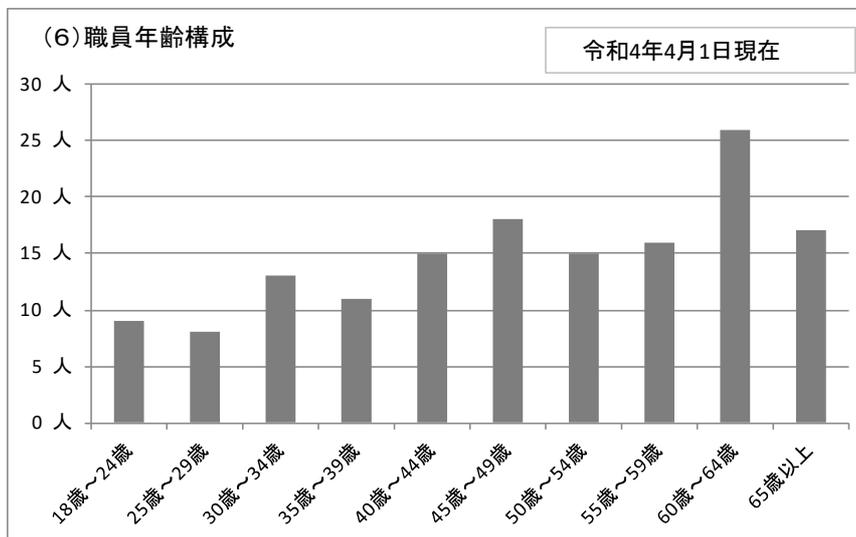
令和4年度	平均本俸月額	233,180 円	令和4年4月1日格付による
	平均給与月額	288,420 円	令和4年度決算額による
	平均年齢	48.53 歳	令和4年4月1日時点による

(4) 職員の賞与の支給状況

	正職員	準職員
夏期支給率	1.3 月	0.65 月
冬期支給率	2.1 月	1.15 月
支給率計	3.4 月	1.8 月

(5) 職員の初任給の状況

区 分		初 任 給 額	
介護職員 介護福祉士 生活相談員 サービス提供責任者 介護支援専門員	大卒 (四年)以上	176,800円	
	短大・専修卒 (二年)	164,000円	
	高卒	155,800円	
看護職	大学・ 看護学校卒	正看	220,000円
		准看	205,000円
理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	—	208,000円	
管理栄養士	—	185,000円	
事務職員	大学院 修士課程修了	182,000円	
	大卒 (四年)	176,800円	
	短大・専修卒 (二年)	155,800円	
	高卒	149,300円	
調理員 栄養士	—	170,000円	
柔道整復師 あん摩マッサージ指圧師 鍼灸師 歯科衛生士	—	185,000円	



3. 役員報酬の支給状況

区 分	年間支給額	
役員報酬	理事 (7名※)	3,275,380円
	監事 (2名)	126,796円
	評議員 (8名)	151,032円

※理事7名のうち5名は職員であり、役員報酬は支給していない。

<事業報告の附属明細書（定款第34条第1項第2号）>

令和4年度事業報告に係る「事業報告の附属明細書」については、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、作成しないこととする。